

私学は公共教育の一翼 吉村 保護者の負担軽減応援 知事



2020年度県政運営に関する 提案・要望書を手渡し懇談

1月21日、日本共産党山形県委員会（本間和也委員長）と同県議団（渡辺ゆり子、関徹両県議）は、吉村美栄子知事に2020年度県政運営に関する提案、要望書を手渡し懇談しました。要望書の項目は、8分野220項目（14項目を重要項目）に渡っていますが、懇談の中でその中から以下の2項目を取り上げました。

○県の次期総合計画で県民の命と暮らしを守ることを最優先すること

○私立高校授業料軽減補助額を上積みし、年収590万円以上の世帯への対象の拡充等を取り上げました。

知事は、「教育・医療・福祉・防災など県民の暮らしを守るために国に提案していきたい」「私学は公教育の一翼を担っており、保護者の負担軽減などできるだけの応援をしたい」と答えました。

「消費税増税によって県民の暮らしや中小企業が苦境に陥っている」との指摘に対しては、「消費税増税の影響については注

視しているのですが、情報を寄せてもらいたい」と述べました。観光への影響と対応について質問しました。

渡辺ゆり子
「観光は、少雪のため滑走できないスキー場や一部のみのところもあることを述べ、「索道会社（リフト運営会社）やスキー場に隣接する旅館などが苦慮している、客数は一割減というところが多いと聞いている。対応として主なものは金融相談だが、観光に関しては、少雪でも楽しめる冬の魅力も發揮していきたい」と答えました。



2020年度予算要望を知事に手渡す

渡辺ゆり子
「観光は、少雪のため滑走できないスキー場や一部のみのところもあることを述べ、「索道会社（リフト運営会社）やスキー場に隣接する旅館などが苦慮している、客数は一割減というところが多いと聞いている。対応として主なものは金融相談だが、観光に関しては、少雪でも楽しめる冬の魅力も發揮していきたい」と答えました。

県議会の動き
2月13日 2020年度の予算内示会
2月19日 2月定例会開会予定となっています。（請願締め切りも2月19日予定）ご意見、ご要望をお寄せください

閉会中委員会審査

**1月22日 商工労働観
光常任委員会**
○少雪・暖冬の影響は？
今冬の少雪・暖冬のスキー場や

2020年2月9日
IV-9号
◇発行◇
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
＜連絡先＞
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241 (受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

ゆり子の 視点

**党大会に
参加して**
1月14日から18日まで、第28回日本共産党大会に参加しました。

参加しての感想は、みが感じられ、胸を何と言っても全国で熱くしました。

市民と野党の共同の様々な形態を取っての進化を実感したことを述べ、その中でも、他の野党や変動や核兵器禁止条約、ジェンダー平等あいさつ、そして各地方の代議員の発言など国際情勢や現状



渡辺議員も参加した党全国大会

らも数年前には考えられなかったような共闘の発展が語られました。そのどれもが、現在の安倍政権国民の声を無視した政治に対して怒り、力を合わせて政治変革をめざす方向や運動、活動への意気込

を大きな観点から把握し、未来社会への展望を提起し議論し、は進化しています。



梅木たけし氏

衆議院山形三区に
梅木威（たけし）氏擁立

も發揮していきたい」と答えました。

※県は1月16日、少雪・暖冬の影響による特別金融相談窓口を開設しています。影響は、様々な業種に出ているようです。

**1月23日 子ども育成・
若者定着支援対策特別
委員会**
○私立高校生への助成拡充

政府は、4月から私立高校に通う年収590万未満の世帯の生徒を対象に、高校修学支援金を支給する。費用など学校に納付する金額の負担が重い。奨学金貸付人数を見ても私立高校生の割合が高く、引き上げ、私立高校授業料実質無料化を実現するとしています。

私は、県内私立高校生の現状について質問しました。

菅原和彦学事文書課長は「県内私立高校の2018年度の入学生は平均18万4724円、平均の月額授業料は3372円、実際の納付金は、36000円台となっている」と答えました。また、高等学校奨学金について片桐寛英高校教育課長は「特別貸与の貸付人数は2018年度70人、そのうち私立は54人となっている」と答えました。

私は、「私立高校生の現状は、授業料の他、入学金や施設整備費など学校に納付する金額の負担が重い。奨学金貸付人数を見ても私立高校生の割合が高く、引き上げ、私立高校授業料実質無料化を実現するとしています。国の2020年度における制度拡充の対象者は約6割のことだが、これまで国に上乗せ支援してきた県としてどう拡充していくのか」と質問しました。

菅原学事文書課長は「部局としては、県内私立高校の平均授業料相当の助成に引き上げることで、年収590万から910万円以上の世帯にも上乗せ助成で1.5倍の支援となるよう予算要求をしていると答えました。私は、さらに「それは承知しているが、現状からみれば、さらなる拡充が国にも求められている」と発言しました。

日本共産党山形県委員会は1月25日、記者会見を行い、衆議院山形三区の候補者を発表しました。梅木威氏は、生協運動や労働運動の経験を踏まえ、「平和と民主主義、暮らしを破壊する安倍政治を終わらせ、市民と野党の共同による連合政権実現に向けて立候補を決意した」と力強く表明しました。